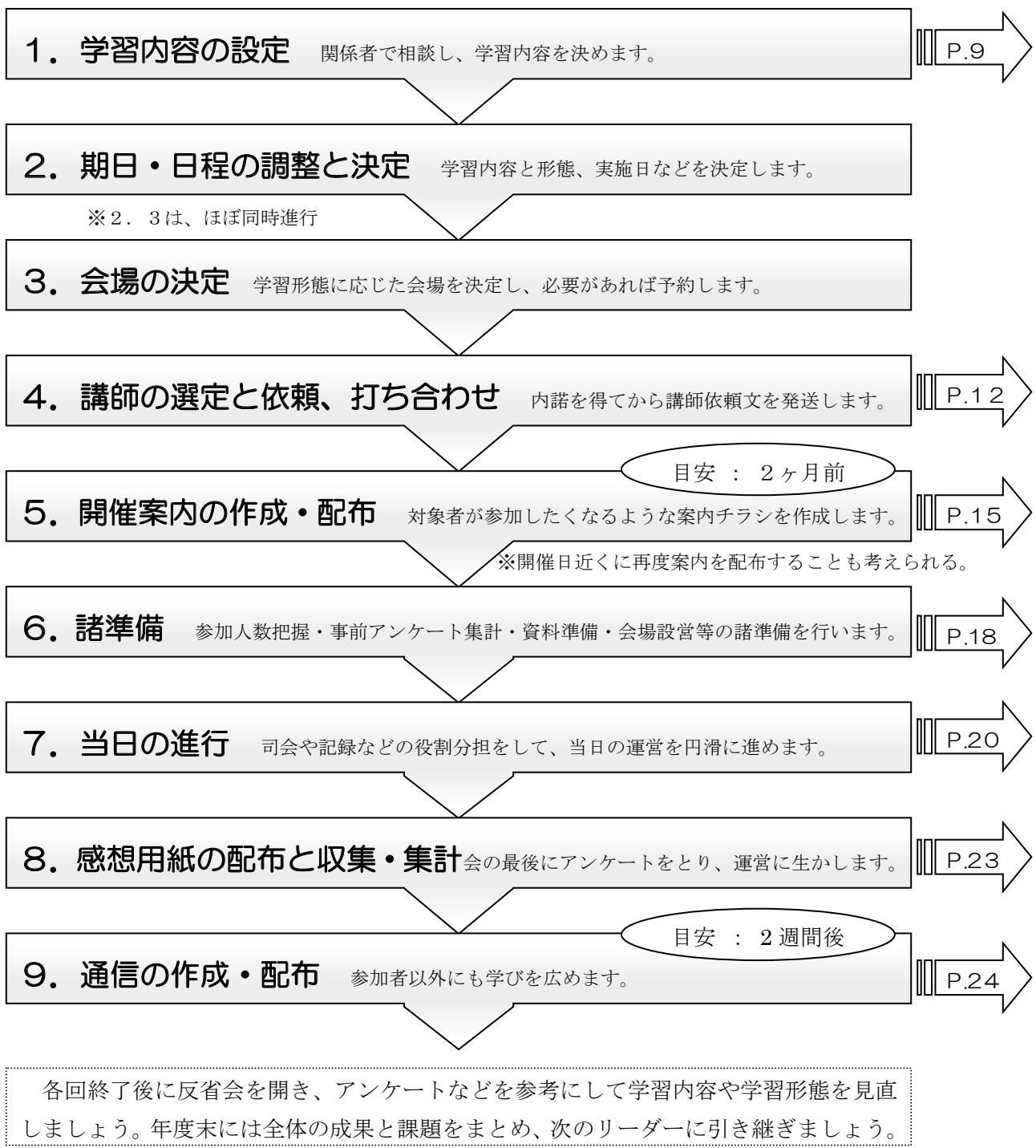


第2章 家庭教育学級の進め方について



(1) 家庭教育学級運営の手順

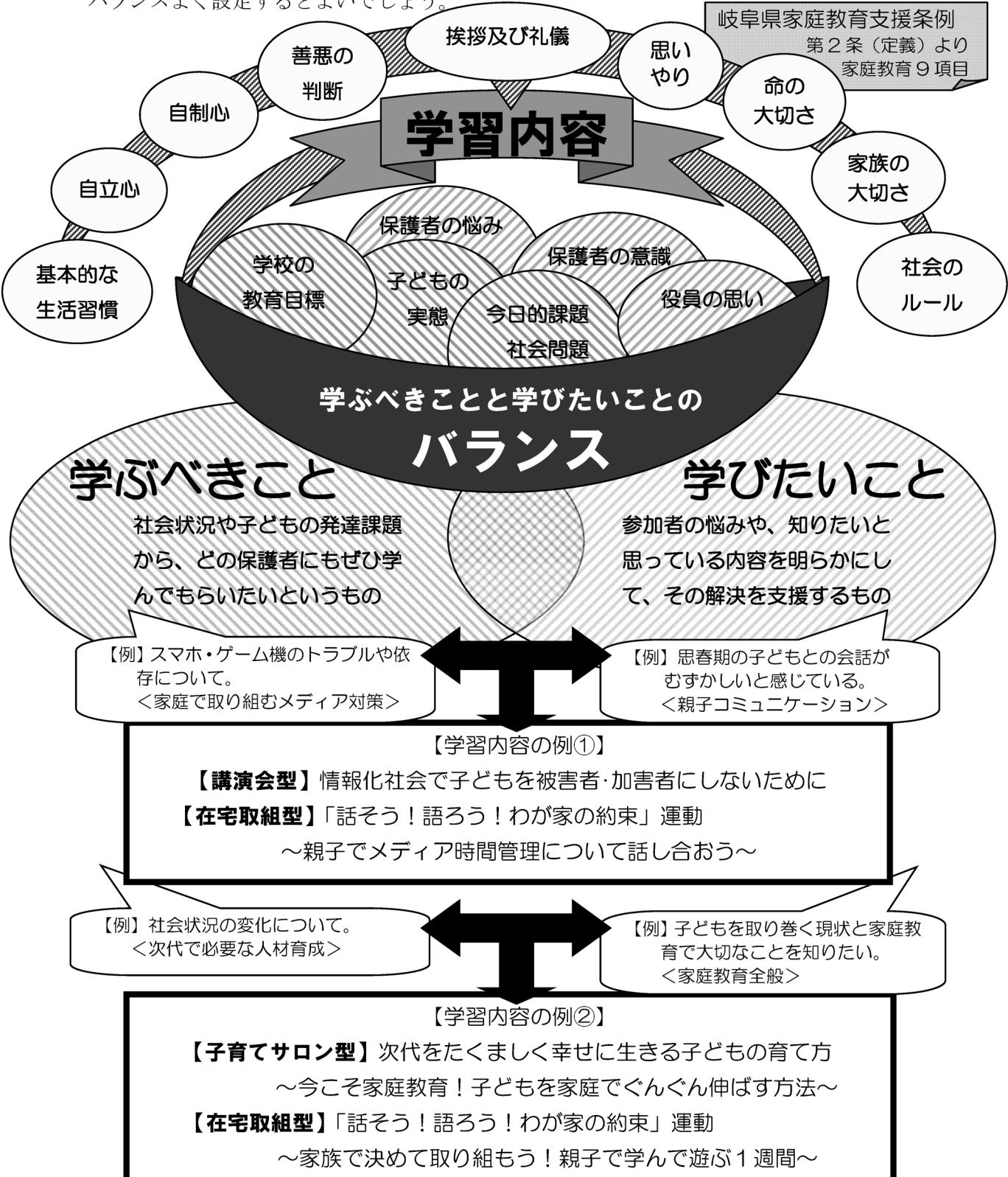
家庭教育学級の学習形態によって違いはありますが、おおむね次のような手順で学級を運営していくとよいでしょう。





(2) 学習内容の設定

学習内容は、条例に示された9項目を意識しつつ、社会状況や子どもの発達課題から考えられる学ぶべきことと、参加者の学びたいことの両方を考慮し、どちらかに偏ることなくバランスよく設定するとよいでしょう。



その他にも、例えば以下のような学習内容が考えられます。（過去の取組紹介より）

学習内容：子どもにやる気を持たせる方法

「次代を生き抜く子どもたちに」

～ほめて伸ばす！ワンポイントレッスン～

学習内容設定の背景

- 【子どもの実態】◆子どもが親の話を素直に聞きにくい
【保護者の悩み】◆思春期の子どもに対する声かけが難しいと感じている
【役員の思い】◆具体的に学び、思春期の子育てに生かして欲しい

学習内容：親子でおにぎりの日

～防災について家族で考えよう～

学習内容設定の背景

- 【今日的課題】◆飽食の時代、食べ物の大切さを感じにくい
【社会問題】◆自然災害等が心配されている
【役員の思い】◆親子で一緒に、食の大切さや日常生活の有難さを感じる機会にして欲しい

学習内容：家庭と学校で育てる役立つ手

～手オリンピック～

学習内容設定の背景

- 【今日的課題】◆手先を使う機会が減少している
【学校の教育目標】◆家族の一員としての仕事（お手伝い）を通して意欲的な心を育成したい
【役員の思い】◆認め励ます機会にして欲しい

学習内容：サイエンスショー

・学級懇談会（子育てサロン）

学習内容設定の背景

- 【今日的課題】◆子どもたちの理科離れが懸念されている
【社会問題】◆環境問題が深刻化している
【役員の思い】◆子どもには、体験・発見を通して興味関心を広げ、保護者には、子どもの成長を感じて欲しい
◆子育てサロンでは、家庭学習について深め、見守り励まして欲しい

組み合わせ型 講演会型＋子育てサロン型 ＋体験活動参加型等

- きちんと食べよう朝ごはん
- 「ホッとする心」で伝える自分を目指して～言葉の意味を感じ取って、あったかく伝えてみませんか？～
- 子育て井戸端会議
- もうすぐ1年生、小学校生活をのぞいてみませんか！
- イライラ子育てからの脱出！怒りのコントロール法を知ろう
- 食べる算数パート2～全国学テに負けない算数～
- 「今、知っておきたいほめ効果」～心の視野を広げよう～

絵本の読み聞かせのおもしろさや大切さ

在宅取組型

- 歯みがきカレンダー
- 「食」でつなぐ家族の絆
- 1%投資活動
- 「ギュッ」してぽかぽか～ハグ週間～
- みんなでハグ・家族でラブラブデー

体験活動参加型

- コミュニケーション能力の育成
- 親子調理教室
- 親子で笑って楽しもう！！
- おやじの会による「夜の学校探検」

岐阜県公式ホームページ

詳しい取組内容は岐阜県公式ホームページをご覧ください。年度ごとに様々な取組を紹介しています。

子どもの年齢によって発達の度合いが違うことから、例えば小学校1年生と6年生では、保護者が抱える問題や考えていかなければならない問題は違います。家庭教育学級を開催するときは、参加者を具体的にイメージすることで、より効果的な学習が期待できます。

子どもの発達段階にあわせ、 その時期にこそ学ばなければならない内容を学習します。

対象者を絞り込んだ学習内容の例

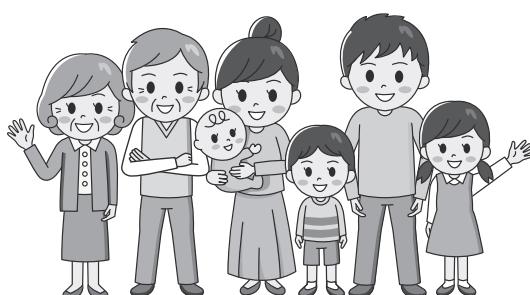
- ・ 就学前の保護者 → 小学校入学までに家庭で身に付けておくこと
- ・ 小学4年生の保護者 → 時期を逃さない性教育
- ・ 小学6年生の保護者 → 子どもが中学校生活を楽しむために、今から取り組む家庭教育
- ・ 中学2年生の保護者 → 子どもの夢を叶える進路選択のために、保護者が心がけること

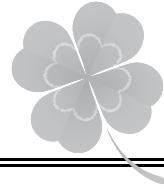


どの世代の保護者にも知っておいてほしい内容や、 繰り返し学んで再確認してほしい内容を学習します。

対象者を広げた学習内容の例

- ・ 生活習慣づくり → 早寝早起きの習慣や健康な発育のための食事
- ・ 情報化社会 → 被害者にも加害者にもならないためのメディアとのかかわり方（ネットやスマートなど）
- ・ 子ども理解 → 子どもの心の声を聴くコーチング
- ・ 人権 → 命の尊さやいじめ問題をとおして子どもに伝えたいこと
- ・ コミュニケーション → 親子・家族・友人とのよい関係のつくり方





(3) 講師（指導者）の選定

家庭教育学級を開催するときに、講師（指導者）を誰にお願いするかということは大切なポイントです。学習内容に応じた講師（指導者）を選ぶことで、参加者の学習が深まり、満足度も向上します。それは、今後の家庭教育学級への参加意欲を高めるとともに家庭教育の充実にもつながります。



身近な人材の協力を得る

学校（園）・
教育委員会

子どもの実態をよくつかんでいため、実態に応じた問題解決に生かせる具体的方法を学ぶことができます。

Q どんな先生にお願いできますか？

- 【例】○学校（園）全体の様子…校長・教頭・園長
- 子どもの行動・問題点…生徒指導主事
- 子どもの健康…養護教諭、栄養教諭
- 子どもの学習や生き方…進路指導主事

地域人材

地域に密着した子育ての話を聞くことができます。学級終了後は地域の一人として相談する等、人間関係の広がりが期待できます。

Q どなたにお願いできますか？

- 【例】○地域人材バンク
- 地域ボランティアやN P O団体
- 保護者 等

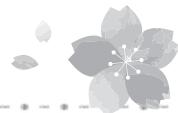


著名人や専門家に依頼する

時には、子どもの心理学や社会問題などを扱っている専門家の話を聞いたり、一緒に活動したりすることも必要です。

Q 専門家はどのように探せばいいですか？

学校（園）の先生や市町村の家庭教育担当者に相談してみましょう。県庁や県事務所の家庭教育担当者においても相談に応じます。



講師を依頼し、準備を進めていく時の確認ポイント

講師を引き受けさせていただくためには、「活動目的」や、お話していただきたい「テーマ」や「ねらい」をしっかりと伝えましょう。了解を得ることができたら、学校（園）の先生や市町村家庭教育担当者に相談しながら、学校（園）や各市町村の実情に応じて準備を進めましょう。

確認ポイントチェック表				確認 번호
1	期 日	第1希望 年 月 日 ()	第2希望 年 月 日 ()	
2	時 間	午前 午後	: ~ :	
3	会 場			
4	講演内容	*お話していただきたいテーマ *講演タイトル		
5	謝礼金			
6	講師の連絡先			
7	肩書き (プロフィール)	*案内作成や当日の紹介のために、情報を頂く		
8	必要な備品	ホワイトボード プロジェクター	マイク 机・椅子	パソコン その他
9	資料の有無	*印刷枚数・部数		
10	当日の交通手段	*車の場合は、駐車場を確保しておく		
11	許 可	*写真や録音が必要な場合は確認しておく		
12	事前打ち合わせ			
13	こちらの連絡先 と担当者名			

講師依頼文・お礼状の例

岐阜一郎 様

〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇学校(園) P T A

〇〇 〇〇

} 日付
あて名
差出人

家庭教育学級における講師のお願い

誰の名前で出すのかは学校
(園) 等と相談するとよい。

拝啓 〇〇の候、先生におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、先日お電話でお願いいたしました本校(園)家庭教育学級講演会での講師について、御快諾をいただきありがとうございました。
御多用とは存じますが、下記のとおり御講演いただきますようよろしくお願ひいたします。

記

会場や参加人数について伝えておくと、講師が当日のイメージをしやすい。代表としてテーマや願いがあればそれも伝えておくとよい。

1 日 時 〇〇年〇〇月〇〇日(○) 午後〇〇時から午後〇〇時まで
2 会 場 校舎(園舎) 1階会議室 〇〇市〇〇町〇一〇一〇
3 参加者 本校(園) 〇〇名程度
4 テーマ 〇〇〇〇〇
5 謝 礼 〇〇〇〇
6 その他

- (1) 当日は〇〇時〇〇分までに校長(園長)室へお越しください。
- (2) 以下のものについて〇〇日までに FAX かメールでお知らせください
 - ・紹介させていただくプロフィール
 - ・講演タイトル
 - ・参加者に配付する資料
 - ・プロジェクターなど準備するもの

7 連絡先 〇〇〇学校(園)
TEL 058-〇〇〇〇
FAX 058-〇〇〇〇
e-mail 〇〇〇〇〇〇@△△△.n
担 当 〇〇〇〇(教頭)

お願いしたいこと・聞いておきたいこと・資料の有無などについて、P. 13 の確認ポイントチェック表を活用し明確にしておくとよい。

〇〇年〇〇月〇〇日

岐阜一郎 様

〇〇〇学校(園)
〇〇 〇〇

講演会のお礼

拝啓 〇〇の候、先生におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、先日開催しました〇〇講演会では、御多用の中、御講演いただきまして本当にありがとうございました。

先生のお話から～～～や～～～など、今後の子育てをしていく上で、沢山のヒントをいただくことができました。特に「◇◇◇◇◇」という言葉が印象に残っており、私も早速～～～で実践しています。参加者からは「～～～」「～～～」などの感想も聞かれ、それぞれの家庭において子育てに役立てていただけるものと喜んでおります。

今後におきましても、先生のお話を伺える機会がもてる嬉しく思います。その折にはよろしくお願ひいたします。

時節柄、くれぐれもご自愛くださいませ。

なお、参加者の感想の一部を同封させていただきましたので、御一読いただければ幸いです。

敬具

講演内容で印象に残った内容や、今後に生かせることなどを具体的に書くと感謝の思いがより伝わる。

参加者に感想を書いてもらったり、事後のおたよりを発行したりする場合、資料として添えると喜ばれる。



(4) 開催案内の作成

家庭教育学級の開催が決定したら、開催案内を作成して配布します。(2ヶ月前が目安)

開催案内内容 これだけは！

- 1 参加対象者
- 2 日時 ○月○日 (○) ■ : ■■～□ : □□
- 3 場所
- 4 内容 テーマや講師について
- 5 (必要ならば) 持ち物

小学校の保護者向け開催案内例：Before

○○年○月○日 (○)

○○市立○○小学校 保護者の皆様

○○○小学校

○○ ○○

第1回家庭教育学級のご案内

形式的な文章

○○小学校第1回家庭教育学級を下記の日程で開催いたします。
お忙しい折とは思いますが、皆様のご参加をお待ちしています。

- | | |
|-------|-----------------------|
| 1 日 程 | ○○年○月○日 (○) 14:00～ |
| 2 会 場 | ○○小学校 1階 図書室 |
| 3 内 容 | 家庭教育講話
講師 ○○ ○○ 先生 |
| 4 持ち物 | 筆記用具 |

内容がわかりやすく、興味
を引きにくい

第1回家庭教育学級に
参加します 参加しません

年 組 お子さんの氏名 _____

保護者氏名 _____

○月○日までに担任の先生に提出してください。

開催案内を作成するときは、対象者の参加意欲を向上させるためにひと工夫してみましょう。

小学校の保護者向け開催案内例：After

興味を引きそうなタイトルにしてみる

パパ・ママのための子育て講座のお知らせ

子どものサイケで見たいための5ヶ条

フォントやデザインを工夫してみる

わが子を思い浮かべてもらえるようなコメントを入れてみる

お子さんのこんな姿、心当たりはありませんか？

- * 最近ぼんやりしている
- * 忘れ物が増えた
- * 何となくそばへ寄ってくる（逆に寄り付かないことも）
- * 友達の話をしなくなった

わが子によりよく育ってもらいたい思いは誰もいっしょです。でも親だってあれこれすべきことがいっぱい！私がもう一人いたらいいのに…。

さあ、ここで心機一転、子育てのコツを伝授してもらって一緒に子育てを見直してみませんか？

保護者の気持ちに寄り添った一言を入れてみる

○月○日（○） 14：00～
○○小学校 1F図書室
講師：○○ ○○先生
(長年、小中学校に勤務され、現在は子育て支援センター相談員としてご活躍です。)

*筆記用具などお持ちください

----- きりとり -----

講師の情報（経歴や人柄など）を添えておくとさらによい

参加確認書

◇出席します ◇欠席します

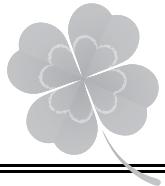
保 護 者 お名前 _____

お子さん 年 組 氏名 _____

○月○日までに、担任の先生へ提出してください。

イラストを用いてみる





(5) 積極的な広報活動

開催案内を配布することに加え、広報活動を組み合わせて工夫することで、対象者の参加意欲をさらに向上させることができます。広報活動によって家庭教育学級への参加者が増えると、会を企画するリーダーの喜びも増します。参加者が増えれば増えるほど、参加者が満足する会にしようとする気持ちも高まります。



【事前アンケート例】

家庭教育学級生様
(保護者の皆様)

○○年○月○

ポイント1
アンケートの目的を明らかにする

○○学 校 (園)
○○ ○○

『子どもの健康と栄養～子どもの生活のリズム～』アンケート

○年○月○日の家庭教育学級では、「子どもの健康と栄養～子どもの生活リズム～」をテーマに講演会を予定しております。講師の先生には、お子様の生活の現状を踏まえ、話していただきます。アンケートのご協力をよろしくお願ひします。当てはまる□に✓を付けてください。

I お子様についてお尋ねします

1 お子様は、何時に寝ていますか？

20時前 20時～21時 21時～22時 22時以降

ポイント2

答えやすい選択肢



2 お子様は、朝食を食べていますか？

毎日食べる どちらかと言えば食べている あまり食べない 全く食べない

3 お子様は、だれと一緒に食事をすることが多いですか？

(一人で食べる・食べない以外は複数回答可)

一人で食べる 父親または母親と食べる 兄弟と食べる 祖父母と食べる
その他の家族と食べる 家族以外の人と食べる 食べない

4 お子様は、放課後何をして過ごしていますか？(複数回答可)

外で遊ぶ テレビゲームをする 塾や習い事等に行く
その他()



5 お子様は、運動やスポーツを行っていますか？

週に5日以上行っている 週に3～4日行っている 週に1～2日行っている
ほとんどやらない

II 保護者の方についてお尋ねします

1 保護者は、朝食を食べていますか？

毎日食べる どちらかと言えば食べている あまり食べない 全く食べない

ポイント3

絞り込んだ質問項目



2 「食育」という言葉を聞いたことがありますか？

言葉も意味も知っている 言葉は知っているが、意味は知らない
言葉も意味も知らない

III 「子どもの健康と栄養～子どもの生活リズム～」について、講師の先生にお聞きしたいこと等をご自由にお書きください。

ポイント4
記述欄

♪ご協力ありがとうございました♪ ○月○日までに担任の先生までご提出ください。



(7) 当日の進行のポイント

家庭教育学級を開催するときは、次の4つのポイントを大切にして進めましょう。

*小グループでの子育てサロン型を取り入れると有効です。



ポイント1 ねらいを伝える

家庭教育学級のはじめのあいさつ等の中で、参加者全員に「今日の活動にはこんなねらいがあります。」と伝えておきましょう。話を聞いたり活動したりするときの参加者の意識が高まります。（あまり形式的にならないようにすることも必要です。）

始める前には、参加者同士で3つの約束（参加・尊重・守秘）を確認しましょう。

参加：参加者は全員平等ですから、全員が参加できるように心を配ります

尊重：お互いの意見や感じ方を尊重し、否定や押付けをせず、パスも認めます

守秘：信頼関係の上での交流ですから、個人情報に関わる内容は口外しません



ポイント2 学びをまとめると認める

家庭教育学級終了後には、参加者の様子を振り返り、「～な様子が良かったですよ。」というように学びの様子を認める言葉を添えましょう。また、講演や活動内容について、「先生からは、○○や○○といった話が聞きました。」というようにどのようなことを学ぶことができたか確認しましょう。

この内容については、関係者の中で事前に分担しておくとよいでしょう。



ポイント3 今後の方向を示す

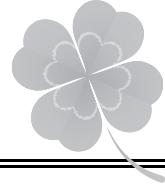
参加者が家庭教育学級に参加してよかったです、明日からの子育てを頑張ろうという気持ちになって帰れるよう、その日の学びや活動を今後の家庭教育にどのようにつなげていくとよいか（今後の心構え）を伝えましょう。

また、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動にもつないでみましょう。



ポイント4 感想を集める

活動後には感想用紙を配布し、感想を記入してもらいましょう。今日の会に対する満足度や、今後の要望などもあわせて尋ね、その後の活動に反映させていくとよいでしょう。



(8) 当日の進行例

【講演会型 + 子育てサロン型 進行例】

時間	内 容	司 会 者	
00:00	開会あいさつ 講師紹介 (担当者を決めておいてもよい)	(場内での注意事項やマナーの確認、資料の内容確認をしておく。) (控え室から講師を迎える。) <ul style="list-style-type: none"> おはようございます。 本日は、お忙しい中ご参加頂きありがとうございます。 ただいまから、○○家庭教育学級講演会を始めます。 ご講演をいただきます先生の紹介をいたします。 (先生のプロフィールと本日の演題) (例)○○について理解を深めるため、○○というテーマでお話しいただきます。 先生、よろしくお願ひいたします。 	
00:00	講 話	<講 話>	
00:00	質疑応答 又は サロン型での 感想交流 その場で3～4人の グループを作り、自分の 感想を伝えたり、相手の 感想を聞いたりする。	<質疑応答形式> <ul style="list-style-type: none"> 貴重なお話、ありがとうございました。 ここで、質疑に入らせていただきます。日頃悩んでおられることや分からぬことなど、この機会に先生にご質問ください。 その他のご質問はありませんか？ ないようですので終わります。 ○○先生、ありがとうございました。	<子育てサロン型感想交流> <ul style="list-style-type: none"> *事前に講師にサロン型交流を伝えておき、質問等に答えていただくよう依頼をしておく。 近くの3～4人で、感想を交流しましょう。疑問等は講師の方に声掛けをしてください。 講話内容と絡めて、悩み解決の糸口を見出す交流となり、皆さん笑顔になりました。ありがとうございました。
00:00	講師へのお礼	<ul style="list-style-type: none"> それでは、お礼の言葉を○○の○○が申し上げます。 (話を聞いての感想を含めて) <ul style="list-style-type: none"> (例)「○○ということを教えていただきました。 「○○という言葉が印象的でした」 ○○先生ありがとうございました。 先生が退場されますので拍手でお送りください。 (控え室へ講師を案内する。) 	
00:00	閉会あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 先生の○○という話を参考に、明日からの子育ても前向きに取り組んでいきましょう。 配布資料にアンケート用紙が入っています。今後に生かして参りますので是非ご協力ください。 本日はありがとうございました。事故のないよう気を付けてお帰りください。 	

○準備しておくもの

- 出席者名簿
- 講演資料、演題やプログラム等の掲示物
- 舞台
- 視聴覚機器（講師の要望に応じて）
- お茶または水
- アンケート用紙、回収箱、鉛筆
- （謝金や諸経費）（講師駐車場の確保）

○決めておくこと

- 集合時刻
- 当日の役割
 - 受付
 - 司会者
 - 記録者
 - カメラ
 - 講師案内

ポイント4
感想を集める

【子育てサロン型 進行例】

時間	内 容	司 会 者	留 意 点
00:00	はじめのことば ポイント1 ねらいを伝える	「これから〇〇〇〇の会を始めます」 「この会のねらいは、皆さんが普段感じていること、不安に思っていること、誰かに教えてあげたいことなどをざくばらんに話して、明日からの子育てに役立てていただくことです。3つの約束(参加・尊重・守秘)を守って、みんなで学び合いましょう。」	◇会の名前はあまり堅苦しくないものを設定するとよいでしょう。 ◇気持ちをほぐすような言葉がけをするとよいでしょう。 ◇参加者同士確認したい3つの約束を伝える。「参加」「尊重」「守秘」
00:00	アイスブレイク (5~8人のグループ作りを含む)	「始めてウオーミングアップとしてこんなゲームをしてみたいと思います。」	◇アイスブレイク(気持ちをほぐして話し易くするための簡単なゲームやクイズ、運動など)を取り入れるとよいでしょう。
		アイスブレイクの例 【自己紹介ゲーム】 (一人ずつ順番に) ・「私は△△が大好きな〇〇です」(好きなものを添える)(パワースポット、マイームなどもよい) ・「私は□□です。娘・息子のよいところは〇〇です」(わが子のよさを一言で話す) 【並び替えゲーム】 (全体で)(その後グループにしてもよい) ・一言も声を出さずにメンバーが誕生日順に並ぶ(時間を区切る) ・一言も声を出さずにメンバーが名前の五十音順に並ぶ(時間を区切る) 【グループ作りゲーム】 (全体で) ・一言も声を出さずに渡された封筒内の自分と同じ飴を持つ人を探す(4~5人) ・アイコンタクトのみで自分の1ピースパズルを合わせて絵を完成させる(5人)	
00:00	意見交流	「では、場が和んだところで、～～～について、一人ずつお話していただきます。最初に〇〇さんお願いします。〇〇さんはお話を終わったら次の方を指名してください。」	◇最初に話をする人によってサロンの雰囲気が決まります。 ◇小グループの場合は、どの班にも司会者が入るよう配慮しましょう。
		★参考: 家庭教育プログラム 「乳幼児期編」「小・中学校編」に「子育てサロン型」「在宅取組型」の家庭教育学級の資料、進行案をテーマごとにまとめてあります。	◇指名によって話す順が決まりますが、隣へ順番にまわすのではなく、ランダムに指名し、全体で話し合っている雰囲気をつくるとよいでしょう。
00:00	まとめ ポイント2 学びをまとめる	小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があるとやわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなります。 	◇司会者は、話がつながらない時に場をつなぐぐらいで、話が盛り上がっていいる時はその場を見守るようにすると自然な会話に発展するでしょう。
		ポイント3 方向を示す	◇話の内容が、どう考えても間違った方向に向いているような場合には、そのまで終わるようなことはせず、正しい方向を示して終わるようにしましょう。
	* 在宅取組型の推進	「今日は～～～や～～～といったお話を聞きました。話したり聞いたりしたことで、子育てのヒントを得られた方もみえると思います。また明日からの子育てに役立てていきましょう。」	◇アンケートをとるならこのタイミングで。
		ポイント4 感想を集める	◇県が配布したり、HPに掲載したりしているカードだけでなく、工夫したカードを自作することもできます。



(9) 事後アンケート

活動後にはアンケートを実施し、参加者の感想や満足度、要望などを把握します。アンケート結果は、次の活動につなげましょう。

講話・交流会・実習・

親子活動 のアンケート例

家庭教育学級アンケート

○○月△△日

本日の家庭教育学級にご参加いただき、ありがとうございました。

皆様のご意見を今後の活動に生かすため、以下のアンケートにご協力をお願いします。

次の各項目について A B C D のいずれかに○をお付けください。

(A…大変よかったです B…よかったです C…普通 D…あまりよくなかったです)

	評価項目	評価
運営	① 参加しやすい時期・日時でしたか。	A · B · C · D
	② 学習の進め方・方法(講話・交流会・実習・親子活動等)はどうでしたか。	A · B · C · D
	③ 講師・助言者の話の内容はどうでしたか。	A · B · C · D
学習内容	④ 今後の子どもとのかかわりに役立つ内容でしたか。	A · B · C · D
	⑤ 楽しい雰囲気の中で参加、学習できましたか。	A · B · C · D
	⑥ 親同士のかかわりは深まりましたか。	A · B · C · D

☆本日の家庭教育学級の中で、一番心に響いたことは何ですか。

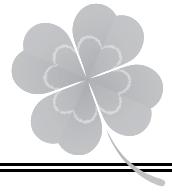
☆これからの子育てに生かしていきたいことはありましたか。

☆本日のテーマについて、改めて感じられたことは何ですか。

☆今後の家庭教育学級について、ご意見やご要望をお聞かせください。

☆評価で D に○をつけられたときは、よくなかった点や改善案を具体的にお聞かせください。

♪ご協力ありがとうございました♪



(10) まとめの広報

当日の学習内容や参加者の感想をまとめて広報することで、学びの再確認や参加できなかった人への情報提供、家庭教育学級のPRなどを行うことができます。

また、在宅取組では、各家庭でどのような取組がなされたのかお知らせすることで、次の取組の参考にしていただくことができます。



ポイント1 ねらいと学習（活動）内容を伝える

学習内容については、読み手に分かりやすく伝えることを心がけ、要点を絞り込んでまとめるといいでしょう。

また、在宅取組の内容については、集計結果をグラフ化するなどして傾向や取組の多様性を次の取組時の参考としてお知らせするとよいでしょう。



ポイント2 参加者の感想を伝える

事後アンケートや取組カードに寄せられた参加者の感想を伝えましょう。その場合、一人ひとりの感想を羅列するのではなく、意見を分類し、その中から主なものを取り上げて様々な視点の意見を伝えましょう。



ポイント3 今後の取り組みや心構えを提案する

学習内容や参加者の意見（アンケート）をもとに、保護者や各家庭が今後の生活で取り組めそうなことや日ごろ子どもと接するときの心構えなどを示してみましょう。合言葉など、印象に残る伝え方を工夫するとさらによいででしょう。



写真やイラストを効果的に使いましょう！

文章は短く、伝えたい内容に絞り込んで伝えましょう！

【まとめの広報例 1】講話・交流会・実習・親子活動の場合

ひまわり



No. ○

○○年○月○○日

○○○学校 ○○○○

★★★ かしこく生きていく子に育てよう！！ ★★★

○月○日、○○先生の講演会を行いました。参加者はなんと○○名！

クチコミやメールで誘い合って参加いただいた保護者の皆様には、担当者として感謝・感激です！お話を「とってもためになり、良かったです！！」という感想をたくさんいただきました。

今回はその講演会の様子をご報告します♪

写真

ポイント1
ねらいと学習内容を伝える

テーマ「かしこい子に育てるためには」

「勉強ができる賢い子」ではなく、「賢く生きていく子」に育てるために、親が気をつけたいポイントをお話いただきました。

○早寝早起き朝ごはんには意味がある

・・・なぜ生活リズムが重要なのか？
成長ホルモンは規則正しい生活によって出る
→ 前頭葉に働く → 心を育てる

写真

○食育のかたち

・・・「手作りの凝った食事」だけではない
忙しい時は買ってきていた弁当でも栄養的には問題ない
その時は一緒に「心を添える」
いつものお箸を添える、味噌汁だけでも作る、
手紙を添えておくなど

○「自分のことが好き」な子に育てよう

・・・「親を喜ばせる子に育てたい」と思っていませんか
どんどん頼りにしよう → お手伝い
手を離しても目を離さない親になろう
→ タイミングよくほめる → 「いつも自分を見てくれる」 → 自己肯定感を育む

☆ひまわりさんの声

ポイント2
参加者の感想を伝える

反省しました ●先生のお話がとても身にしました。できることは毎日の生活にある、ということに今さらながら気づいたという感想です。普段の生活を大切にしていきたいと思います。●子育ての大切なことを思い出し、原点に戻ってみようと思いました。自分は子どもの話にちゃんと耳を傾けていたのかと反省しました。●基本的な生活習慣を整えるのは当然のことなのに、忙しいからといいかげんになっていた気がします。その大きさを改めて実感し反省しています。 **子どもと一緒に成長** ●日々の生活の中に答えがある、ということに気づきました。親として子どもと一緒に成長していきたいと思います。●子ども目線になっていませんでした。子育て=親育ちという気持ちを忘れずに過ごしたいと思います。 **新しい発見** ●漠然と「早寝早起き朝ごはん」が大事だと思っていましたが、今回のお話で納得できました！ ●親を喜ばせる子に育てようとしていたかも…と気づくことができました。 **その他** ●あつという間でした。もう少し聞きたいお話をしました。●できればすべての保護者に聞いてもらえると良かった（等々たくさん）

ポイント3 今後の取組や心構えを提案する

☆役員から一言

「特別なことをしなくても日々の生活を大切にすることが子育てなんだ」ということに改めて気づくことができ、肩の荷が下りたような気がしました。子どもの生活リズムを整えるのは学校ではなく家庭の役割です。まずそれぞれの家庭から見直してみませんか？

- 早寝・早起き・朝ごはんで生活リズムを整えよう！！**
- たまには食事の手をぬいてもOK！その分心を添えてあげよう！！**
- 子どもに期待するだけではなく、頼りにしよう！！**

【まとめの広報例 2】在宅取組の場合

ひまわり



No. ○

○○年○月○○日

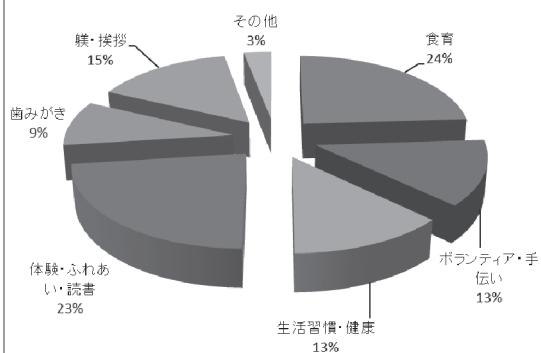
○○○学校 ○○○○

夏休みには、『話そう!語ろう!わが家の約束』運動（一家庭一実践）に取り組んでいたき、ありがとうございました。多くの家庭で取り組んでいただいた「ふれあいカード」のまとめができましたので、お知らせします。

本年度の実践内容

ポイント1 活動内容の集計結果を知らせる

○年度 親子ふれあいカードの内容



食育 朝食作り、夕飯作り、野菜で食育

ボランティア・手伝い

ご飯の準備・片付け、掃除、洗濯

生活習慣・健康

ラジオ体操、早寝早起き、運動、

部屋の片づけ、テレビを消して食事

体験・ふれあい・読書 一緒に食事、団らん

歯みがき 親子で歯みがき

隣・挨拶 だれにでも挨拶

その他 動物の世話

☆子どもの声・保護者の声

ポイント2 参加者の感想を伝える

3年 女子

ボランティア・手伝い

【取り組んだ内容】かたづけ

【実践内容】リビングのかたづけ
使ったらもとにもどす

【子どもの感想】ちらかったへやがどんどんきれいになってうれしかったです。

【保護者の感想】姉も一緒に片づけてくれていました。片づけはよくできましたが、元に戻すことはつい忘がちでした。これからも続けたいです。

6年 男子

生活習慣・健康

【取り組んだ内容】毎日、新聞を読む

【実践内容】毎日、新聞に目を通す
興味のある記事について親子で話し合う。

【子どもの感想】世の中のことをよく知るきっかけになったので、夏休みが終わっても続けます。

【保護者の感想】今回の取組がよい習慣になるようにずっと続けてほしいです。

☆役員から一言

ポイント3 今後の取組や心構えを提案する

どの家庭でも充実した夏休みを過ごすことができたようです。また、今回の取組も親子が向き合う絶好の機会となり家族の絆を一層深めたことも分かりました。

今後もこれらの実践を参考にしながら、家庭での親子のふれあいを深め、より良い実践をお聞かせいただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。